

第1学年 数学科 シラバス

1 教科の目標

- (1) 正の数と負の数について、具体的な場面での活動を通して理解し、その四則の計算ができるようにする。
- (2) 文字を用いて関係や法則を式に表現したり、式の意味をよみとったりできるようにするとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。
- (3) 方程式について理解し、それを用いることができるようにする。
- (4) 具体的な事象のなかにある2つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係を見だし、表現し、考察することができるようにする。
- (5) 平面図形についての理解を深めることができるようにするとともに、基本的な図形を、見通しをもって作図することができるようにする。
- (6) 図形を観察、操作や実験を通して考察し、空間図形についての理解を深めることができるようにする。また、図形の計量をすることができるようにする。
- (7) 資料を目的に応じて収集し、それを表やグラフに整理するとともに、資料の傾向を読みとり説明出来るようにする。

2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価方法
I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元における、基本的事項・重要事項・基本的な考え方についてその意味や意義などを理解し、問題解決に結びつけることができる。 ・正負の数の計算、一次式の計算、一元一次方程式を解くことができる。 ・比例、反比例の関係を、表、式、グラフで表現したり、その特徴をよみとったりすることができる。 ・線対称、点対称な図形を、その性質にもとづいて見いだしたり、かいたり、作ったりすることができる。基本の作図の方法を用いて、あたえられた条件をみたす図をかいたり、その作図の方法を説明したりすることができる。 ・資料を度数分布表やヒストグラムに表すことができ、資料の傾向を読みとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・休み明けテスト ・提出物 等
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数量、図形などについての基本的な知識や技能をもとに、事象を論理的に考え、問題解決に活用したりできる。 ・具体的な場面で一元一次方程式を活用し、問題を解決したり結果の妥当性を判断したりできるようにする。 ・比例・反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現できるようにする。 ・空間図形を平面上に見取図や展開図を用いて表現することができる。 	
III 主体的に学習の取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的に考えることに関心を持ち、意欲的に問題の解決に活用しようとしている。 ・文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ・平面図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出物 ・課題 等

3 年間指導計画

月	単元名	学習内容
4月	0章 算数から数学へ	・整数の性質
	1章 正負の数	・正負の数
5月		・加法と減法 ・乗法と除法
6月		・正負の数の利用

	2章 文字と式	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を使った式 ・文字式の計算 ・文字式の利用
7月		
9月	3章 方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式とその解き方 ・1次方程式の利用
10月	4章 比例と反比例	<ul style="list-style-type: none"> ・関数と比例・反比例 ・比例の性質の調べ方 ・反比例の性質の調べ方 ・比例と反比例の利用
11月		
12月	5章 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の移動 ・基本の作図 ・おうぎ形
1月		
2月	6章 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな立体 ・立体の見方と調べ方 ・立体の体積と表面積
3月	7章 データの分析と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・データの整理と分析 ・データの活用 ・ことからの起こりやすさ
	1年総復習	

4 学習のポイント

《提出物の評価基準》

- 提出物 A 問題を解いて答え合わせをするだけでなく、できなかったところの途中の式や考え方が書いてある。書き方を工夫し、考えのポイントや注意すべき点がかかれている。
- B 問題を自分で解いて、途中の式や考え方が書いてある。
- C 取り組みが不十分である。答えだけしか書いていない。

《学習を進めていくときのポイント》

- ・授業に前向きに参加しよう。…自分の頭で考える。みんなで考える。人と相談する時間を大切にする。
- ・ノートをしっかりとうろう。…家庭で復習するときの強い味方になる。**学習内容とふりかえりを必ずかく。**
- ・ワークにしっかりと取り組もう。…きちんと**途中式**も書く。答えだけを書いても身にならない。
- ・テスト…事前の対策はもちろんだが、返却後のふり返りがなにより重要。できなかった問題を分析して、次回に備えよう。
- ・提出物…ノート・ワーク・ワークシートなどで、学習状況をチェックする。
指示された**期日**までに自分の責任で提出すること。

《数学の学習5ヶ条》

- ② 「できる」か「できないか」ではなく「どうしたらできるか」を考えよう。
- ② とりあえずやってみよう。やらずにあきらめるのはやめよう。
- ③ 覚えるのではなく、しくみを理解しよう。
- ④ わからないことは、わからないと言おう。わかったふりはやめよう。
- ⑤ 人の力をたくさん借りよう。